

平成22年7月分電力需給状況

需要の概要

平成22年7月の販売電力量は、25億1千9百万kWh時、前年比 105.1%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、7月の気温が前年に比べ高めに推移し、冷房需要が増加したことなどから、前年比 104.1%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、電灯と同様の気温要因などから、前年比 103.4%となった。

産業用の「大口電力」は、鉄鋼や機械を中心に生産水準が前年を上回って推移していることなどから、前年比 111.2%となった。

需要実績

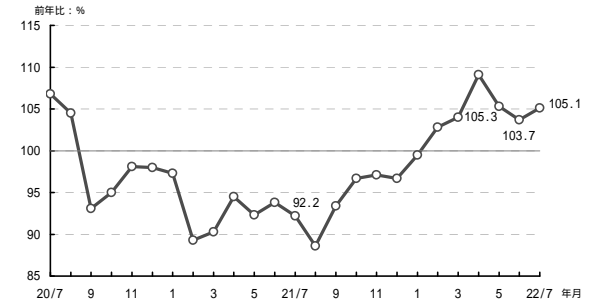
		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	762	104.1
	電 力	165	97.4
	計	927	102.8
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	666	103.4
	産業用電力	926	108.9
	うち大口電力	(708)	(111.2)
	計	1,592	106.5
販売電力量 計		2,519	105.1
融 通		475	184.7

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計

大口電力の主な産業別内訳

		(百万kWh時、%)		
電力量		前年比		
		22/7月	22/6月	22/5月
織 維	34	119.9	119.9	129.2
紙・パルプ	118	97.3	103.5	103.0
化 学	103	104.5	111.9	124.7
鉄 鋼	76	160.5	116.2	119.3
機 械	174	112.7	110.8	110.9
そ の 他	203	108.6	109.6	103.8
合 計	708	111.2	110.2	110.9

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 4県都平均気温

	22/6月				22/7月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実 績	21.5	23.5	25.3	23.4	26.1	26.6	28.7
平年差	0.0	1.0	1.8	0.9	0.8	0.1	1.2	0.7
前年差	0.1	0.3	0.0	0.1	0.8	1.2	2.2	0.7

供給の概要

- 原子力は、前年並みの 100.7%となった。
- 水力は、豊水の影響などにより、前年比 136.2%となった。
- 火力は、需要の増などにより、前年比 114.5%となった。

供給実績

		(百万kWh時、%)		備 考
		電力量	前年比	
原子力	(40)	1,357	100.7	出水率 119.8% (21年7月出水率 97.3%)
水 力	(15)	508	136.2	
火 力	(44)	1,525	114.5	
新エネ	(1)	26	117.8	
発受電計	(100)	3,417	111.1	
その他		22		
供 給 計		3,394	112.3	

注1：新エネには西条バイオマス(1百万kWh時)を含む 注2：()内は構成比

注3：四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)						
		徳 島	高 知	愛 媛	香 川			
販売電力量計	(108.4)	566	(105.5)	424	(103.1)	856	(104.9)	673

注：()内は前年比